



## イスタンブール宣言

我々、欧州委員会、経済協力開発機構、イスラム諸国会議機構、国際連合、国連開発計画及び世界銀行の代表は、

**我**々の住むあらゆる社会がより一層複雑になってきただけでなく、これまでになく異なる社会が密接に結びついていることを認識している。しかしながら各社会は、それぞれ異なった歴史、文化、経済社会の発展を保ち続けている。

**心**強いことに、統計指標を通して社会の進歩を測ろうとするイニシアティブが全大陸におよぶ数カ国で既に開始されている。これらのイニシアティブは、それぞれ異なる手法、文化的・知的枠組み、主要関係者の関与によって進められているものではあるが、ここにおいて明らかになってきのは、「一人当たり GDP」をはじめとする伝統的な経済指標を超えて、あらゆる国における社会進歩の測定に取り掛からねばならないという、我々の総意である。実際我々は、ミレニアム開発目標（MDGs）に対する進展を測るために国際連合が設定した一連の指標によって、既に第一歩を踏み出している。

**客**観的根拠に基づく意思決定（evidence-based decision making）の文化はあらゆるレベルで促進されるべきであり、そうすることで社会福祉は増進される。さらに「情報化時代」にあっては、福祉は公共政策決定の透明性とアカウンタビリティに少なからず依存している。経済、社会、環境に関する成果の統計的指標が整備され、それらが市民に広く普及することは、良い統治（good governance）の促進並びに民主的プロセスの改善につながるのである。そして、討論や合意形成を通じて自分が属する社会の目標に関与するという市民の能力が強化され、また公共政策のアカウンタビリティが高められることになる。

**我**々は、あらゆる次元で社会の進歩を測定し強化し、そして国家レベルのイニシアティブを支援する決意である。また我々は、統計に関わるあらゆる部局、公共および民間の機関、学界の専門家たちが、それぞれが属するコミュニティを代表する人々と共に取り組むことを強く要請する。そうすることによって良質で事実に基づいた情報が作り出され、誰もがそれを活用し、社会全体の幸福や長期的発展についての共通認識を持てるようになるのである。

**官**庁統計は社会の進歩を後押しする重要な「公共財（public goods）」である。社会の進歩を測る指標が開発されるにつれて国家統計機関の重要性は一層強まり、その役割は、適切・適時で、信頼できる、比較可能なデータを揃え、そして国家レベルおよび国際レベルの各種報告に必要な指標を提供することである。国際連合が1994年に採択した「官庁統計の基本原則（Fundamental Principles of Official Statistics）」に則った信頼性の高いデータや指標が開発されるよう、我々は各国政府に投資を奨励する。

これらの取り組みを前進させるために我々は以下の事柄を実行しなければならない：

- あらゆるコミュニティが21世紀における「進歩（progress）」の意味を自問するよう奨励する
- 社会の進歩を測定する上でのベスト・プラクティスを共有し、強固で信頼性の高い方法を使って測定することが必要であるとの認識を高める
- 社会進歩に関する地球規模の課題と社会進歩の比較検討との両方について、確固とした統計データと指標に基づき、国際的な討論を活性化させる
- 状況の変化を広く人々に知らせめ共通認識を生み出す。その際には大きな変化が起きている領域や十分に理解されていない分野を浮き彫りにする
- 統計を整備するためのキャパシティ・ビルディングへの投資、特に発展途上国への投資を奨励する。それにより、開発計画をうまく進めるために必要な、あるいはミレニアム開発目標をはじめとする国際社会で合意された目標の進捗報告のために必要なデータや指標を充実させる

**我**々にはまだ多くの課題が残されている。また、多くの社会で高まりつつある要求を満たそうとするならば、全てのパートナーの参加が不可欠である。そのために注がれる努力は、発展段階の異なる各国家の能力に相応のものとなるはずである。我々は、公共及び民間の機関双方が世界の進歩を促進するこの野心的な取り組みに貢献するよう要請するとともに、地方・国家・地域・国際といった各レベルでのイニシアティブを歓迎する。

**最**後に、この第2回 OECD 「Statistics, Knowledge and Policy」世界フォーラムを主催したトルコ政府に感謝の意を表したい。さらに世界中からこの世界フォーラムに寄与あるいは出席した全ての人々、及びインターネットを通して議論を見守った全ての人々に対しても深く感謝する。

イスタンブール、2007年6月30日